

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立 南第一小学校

1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- ・対全国比の平均正答率は、国語は全国平均と同じ、算数は全国平均を上回った結果になっています。
- ・国語について、「話すこと・聞くこと」の領域は全国平均を上回る結果でしたが、「読むこと」は全国平均を下回る結果になりました。
- ・算数について、「数と計算」「変化と関係」が全国の結果より上回る結果でした。
- ・無回答率は全体的に低かったのですが、選択式において無回答で答えている児童もいました。どんな問題に対しても最後まで粘り強く考えるよう日頃から取り組んでまいります。

2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語	<ul style="list-style-type: none">・「話すこと・聞くこと」の話し手の伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉える設問では全国平均を超える正答率でした。・日常よく使われる敬語を理解しているかという設問では全国平均を大きく上回る正答率になりました。・質問紙調査の「国語の授業内容はよくわかりますか」について肯定的な回答が全国平均を大きく上回る結果でした。校内研修で国語の授業改善に取り組んでいる成果が表れています。	<ul style="list-style-type: none">・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめて書くといった記述式の問題の正答率が低く、課題があります。・文の中で漢字を正しく使う問題の正答率が低く、課題があります。
算数	<ul style="list-style-type: none">・「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて知りたい数量の大きさの求め方と答える」設問では、全国平均を大きく上回る結果になりました。・14問中11問が全国平均より上回っていました。また、「算数の授業内容はよくわかりますか」について肯定的な回答が全国平均を大きく上回る結果でした。算数における少人数指導を積み上げてきた成果が見られました。	<ul style="list-style-type: none">・二次元の表から、条件に合う数を読み取る問題の正答率が低く、課題があります。・自分の考えや理由を言葉や数を用いて記述する力に課題が見られます。

3. 児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉

- ・5年生までに受けた授業について「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という項目で肯定的回答が多かったです。これらは、児童が主体的に授業に取り組んできたことを示しています。また、これらの項目については昨年度も肯定的回答が多く、本校のこれまでの積み重ねの成果が表れていると考えられます。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」「友だち関係に満足していますか」という項目での肯定的回答が多かったです。学校で安心して過ごせることが児童の学力定着につながっていくと考えています。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という項目で肯定的回答が多かったです。地域の一員として、地域の方々に見守られながら日々の生活を送れることは児童の心の安定を図っていく上でも非常に大切なことです。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

- ・「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」という項目で、肯定的回答が全国や大阪府よりも低い割合でした。
- ・「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌を除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館（それぞれ電子書籍を含む）にどれくらい行きますか」という項目で、肯定的回答の割合が低かったです。
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という項目で肯定的回答の割合が低かったです。
- ・ICT機器の活用に関する項目で、「ほぼ毎日」活用していると答えている割合が低かったです。

4. 成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

- ・これまで本校が授業の中で大切にしてきた児童が自ら考え、意見交換を行いながら考えを深めていく主体的に取り組む姿勢をこれからも大切にしていきます。今後、深めていった自分の考えを相手に伝わりやすく文章で表す力の育成にも努めてまいります。
- ・漢字を正しく使う力の向上のために、これまで行ってきた新出漢字の学習を整理し、より定着を図れるようにしていきます。また、国語の授業にこだわらず、様々な学習の場面で意識的に漢字を使ったり、意味を問いかけたりする活動を増やしていきます。
- ・算数において、問題文の読解を大切にしていきます。また、自分が考えたことを数値や学習した言葉を用いて記述していく機会を増やしていきます。
- ・児童の主体的な活動を日々の授業を始めとして様々な教育活動で大切にしていき、取組みを評価し児童の自己肯定感の向上につなげていきます。
- ・本校はコミュニティ・スクールが設置されています。本校に関わっていただいている方々のお力を結集して、児童の地域の行事に積極的に参加したいという気持ちを大切にしながら、自分が住んでいる地域や社会をよくするために行動していける心情の育成に努めてまいります。
- ・普段の授業でも ICT 機器の活用機会を増やしています。より効果的に活用していけるように研修や実践を積み重ねていきます。

5. 保護者・児童・生徒のみなさんへ

〈児童のみなさんへ〉

- ・調査日当日は、たくさんのテストがあつて大変だったかもしれません。そんな中でもあきらめずに最後まで取り組んでいました。この姿勢はとても大切なことで、これから困難なことがあつても、あきらめずに取り組んでいきましょう。
- ・自分の考えを相手に伝えるために、資料や文章などから話の組立てを工夫することができます。これは、一小タイムでのスピーチでも力を発揮できています。低学年の子たちにとっては憧れの存在です。
- ・国語だけでなく、他の教科においても問題文など、文章を丁寧に読んで書かれている内容を整理していく取組みを重ねていきましょう。そうすれば、これまで以上に発表する場面で分かりやすく話したり、考えをまとめたりできるようになっていくはずですよ。

〈保護者のみなさまへ〉

- ・本校の児童は、授業などに前向きに取り組むことができます。また、自分の考えを発表しようとする意欲も持っています。これらは、学校での取組みだけでできることではありません。ご家庭でも日ごろから、子どもたちの話を聴いてくださったり、声かけをしてくださったりしているおかげだと考えております。
- ・子どもたちは、一人ひとりが素晴らしいものを持っています。これらの力に気づき、自信につなげていけるような取組みを学校でも進めていきます。これからもご家庭でも、子どもたちへの声かけをよろしく願いいたします。